

# 生徒一人一人が光り輝く学校「SUN商」

## ～ 三商定時制課程だからできる 夢の実現 ～

### 1 目指す学校像

- (1) 生徒一人一人の人権を尊重しながら、基本的な生活習慣を確立し、個性の伸長に努め、豊かな人間性の育成と健康の増進を図る。
- (2) 基礎学力を身に付けさせ、生徒一人一人の能力や適性を引き出すとともに、主体的に判断し行動できる資質や能力の育成を図る。
- (3) 日本の経済社会を担う人材を育成するため、ビジネスに関する基本的な知識と技術を習得させるとともに、専門性の深化を図る。
- (4) 地域貢献活動や地域連携活動により、健全育成を図るとともに、魅力ある商業高校として、地域に愛され、深く信頼される学校として教育活動の充実を図る。

### 2 中期的目標と方策

#### (1) 学校運営

- ① 都立高校学校経営指標に基づいた学校運営を通して、全教職員が課題を共有し、また、課題解決に向けた協力体制を強化し、組織的な学校運営を推進する。
- ② ライフワーク・バランスの推進を配慮しつつ、執務ガイドラインの活用や各分掌における仕事内容の精査・整備を行い、分掌組織のマネジメントサイクル（PDCA）への取り組みを通して、課題解決に向けた効率的な校務運営を行う。
- ③ 若手教職員等の指導力向上を図るために、OJT診断基準を活用したOJTの推進に取り組み、組織的な支援体制を構築し、学校の教育力及び組織力の向上を図る。

#### (2) 学習指導

- ① 読み・書き・計算・一般常識など、社会生活に必要な知識や技術を習得させるとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な資格取得の充実を図る。
- ② 自己や全体の状況を把握し、自ら課題を発見し課題解決できる能力を育成することにより、自らの進路を決定していく実践的な力の育成と専門性の深化を図る。

#### (3) 生活指導

- ① 家庭との連携を強化し、きめ細かい指導により、生徒に自覚と責任を持たせるようマナーの定着を図るなど基本的な生活習慣や授業規律を確立する。
- ② 奉仕等体験活動を機会に地域と連携し、ビジネスマナーの習得と、学校で学んだ知識や技術の定着を図るとともに、ビジネス社会に通用する実践的な資質や能力の育成を図る。

#### (4) 進路指導

- ① 4年間を見通した進路指導計画に基づき、1年次より自らの生き方あり方を考えさせるとともに、生徒意識調査や職業適性検査、進路先の調査、資格取得等の計画的・組織的な進路指導を通して進路保証を図る進路指導マネジメントシステムを構築する。
- ② 生徒自身の日常の就労体験や各種機関との連携を深め、奉仕等体験学習の機会を多く取り入れ、社会性の体得やビジネスマナー等実践的な対応力と職業観・勤労観を育成する。

#### (5) 特別活動・部活動

- ① 学習と特別活動の両立により、豊かな人間性の育成と個性の伸張を図るとともに学校への帰属意識、連帯感、達成感等を育てる。

#### (6) 安全・健康指導

- ① 学校給食を教育活動の一環として位置付け、食育として生涯を通じた健全な食生活の実現や健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識を身に付けさせるとともに、食を選択する判断力を育てる。

#### (7) 広報・募集対策

- ① 教育活動を近隣住民、中学生、保護者等にPRし、本校で学びたいと希望する生徒を募集するとともに、適応指導教室との連携を深める。

#### (8) 教育環境の整備

- ① 新校舎での教育活動が円滑に推進できるよう、よりよい教育環境を整備する。

#### (9) 学校評価による学校改革の推進と組織的対応力の向上

- ① 分掌や教科等における自己評価、学校運営連絡協議会における評価、生徒による授業評価等を通して授業や特別活動等の見直しと改善を図り、魅力ある教育課程を編成する。
- ② 生徒や保護者、地域の期待に応えるため教職員の組織的対応力を高め、課題に誠実に対応するとともに、一層のサービスの厳正を図る。

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

##### ①学校運営

- ・生徒のニーズにあった選択による少人数授業、習熟度別授業の検証と改善
- ・段階的かつ系統的な学習指導と資格検定の検証と改善
- ・教育課程のさらなる充実のため新教育課程の検討及び教員の資質及び授業力の向上
- ・地域連携を促進するため地域の教育力を活用した教育活動の推進・
- ・計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

##### ②学習指導

- ・「わかる授業」の実践を促進するため定点観測を活用した基礎、基本の定着
- ・基礎・基本の充実のための学力向上推進計画の実施による主体的学習態度の育成
- ・学習意欲を高めるための基本レベルの資格取得と一般教養試験への対応
- ・課題研究の内容の充実及び地域や商店街との連携

### ③生活指導

- ・ 基本的生活習慣の確立のため全教職員による組織的な生活指導体制の構築と情報の共有化
- ・ 生活指導統一基準に基づく指導推進のため挨拶の励行と家庭と連携した無断欠席や遅刻に対する指導体制の構築と授業規律の確立
- ・ 自尊感情を醸成し自殺対策に資する教育を推進するため主体的な奉仕等体験活動の充実

### ④進路指導

- ・ キャリアガイダンスの組織的かつ計画的な実施のための目標管理型の進路指導システムの構築とビジネスマナー指導の徹底
- ・ 進路を見据えた多彩で専門性と実践力の深化のため進路指導部と学年・教科の連携による教科横断的指導の推進と高度資格取得へ向けた指導の充実
- ・ 資格取得等の計画的かつ組織的な進路指導の充実と進学希望者への進路指導体制の充実

### ⑤特別活動・部活動

- ・ 4年間を見通した年間ホームルーム指導計画の策定と改善
- ・ 生徒会や生徒の委員会組織を活性化させ学校に対する帰属意識の向上のため特色ある学校行事や特別活動を充実
- ・ 計画的な部活動指導と活動日数や時間等の環境保証や体育的学校行事をとおした体力向上の取組の活性化やオリンピック・パラリンピック教育に資する取組の充実

### ⑥安全・健康指導

- ・ いじめ未然防止のため日常的な生徒観察とスクールカウンセラーの活用による相談機能の充実
- ・ 避難訓練の工夫改善と組織的な緊急対応体制構築と地域や関係機関と連携した防災教育の実施
- ・ 健康で安全な学校環境の確立
- ・ 自立的な生活管理と健康管理
- ・ 給食における食生活のマナーや食事を通じたコミュニケーション能力等人間関係の能力形成

### ⑦広報・募集対策

- ・ 意図的・計画的な広報・募集活動の実施
- ・ 授業公開、学校説明会、中学校訪問、ホームページ等募集活動の見直しと改善
- ・ 中学校の進路指導計画やPTAとリンクした広報活動の見直しと改善

### ⑧図書・視聴覚指導

- ・ 読書習慣の定着
- ・ 生涯学習への基礎づくり

## (2) 重点目標と方策

### ①教育課程の改善と学校運営

- ・ 中学校段階の学習内容の学び直しにより基礎的基本的な学力の確実な定着を図るとともに、選択科目や学校設定科目の検証と改善を行う。
- ・ 学校の特色や生徒のニーズが明確に反映できる内容への深化を図るために、新教育課程について調査研究に努め実施に向けた教育課程編成に取り組む。
- ・ 学校運営連絡協議会との連携を図り、学校運営上の課題解決の見通しや具体策を構築する。

- ・体罰及び不適切な指導の禁止について教職員に周知し研修等を実施して徹底を図る。
- ・教科「人間と社会」を活性化させるために外部講師を招き、体験的な学習を実施する。

## ②学習指導

- ・主体性を持って多様な人々と協議して課題を発見し、解決策を見出していく「アクティブ・ラーニング」の視点にたった学習や生徒同士の教えあいや討議等さまざまな授業形態を工夫する。
- ・生徒の実態やニーズに対応した学習到達目標や1時間ごとの授業のねらいを明確にし、習熟度別授業や少人数授業を通して基礎学力や体力の定着を図る。
- ・障害等特別な支援が必要な生徒に対して、状況に応じ対応するため「個別の教育支援計画」を策定し、ドリル学習などを通じて基礎学力の定着度を把握しながら個別指導を充実させる。
- ・一般教養の内容について各教科に意図的・計画的に導入を図るとともに、ICT活用や興味・関心を高める教材を作成する。
- ・期末考査後の授業を充実させるために、計画的に補習、補講週間及び個人面談週間を設定実施する。また、放課後の補習や長期休業中に補講等を実施し、学力の定着に努める。
- ・各種検定試験をスモールステップとして商業科目の学習へのモチベーションを高め、全員が3級以上取得を目標とする。また、より高度な資格取得にも挑戦させる。
- ・号令とチャイムスタート、私語・飲食等の禁止、携帯電話・スマートフォンの使用厳禁等により授業規律の確立に努め規範意識を高める。
- ・校外教育活動や地域連携による知識や技術の定着と、学習発表等により実践力の向上を図る。
- ・オリンピック・パラリンピック教育を通して、自己を確立しつつ他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と協力・協働しながら問題を解決する態度の育成を図る。また、多くの外国人と交流する機会が増えていく中、臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や日本人としてのアイデンティティをしっかりと持てる豊かな国際感覚を醸成する。

## ③生活指導

- ・全教職員で組織的に、生徒の基本的な生活習慣やマナーを確立させる指導に努め、「挨拶」「身だしなみ」「時間を守る（遅刻、無断欠席）」「話を聞く態度」「清掃」について学校全体の生活指導として定着させる。
- ・クラブエンカウンターを活用及び家庭との連携を活性化させ生徒の出席率を向上させることによって、中途退学者を減少させ、進級・卒業率を高めていく。
- ・生徒の生活時間や交友関係等の把握を通して、生徒一人一人に対応したきめ細かい生活指導を家庭やスクールカウンセラーと連携しながら実施し、問題行動をなくす。また、禁煙指導を徹底し、生活習慣の改善を図り健全育成を推進する。
- ・教育活動の予定や状況をホームページや学校通信等さまざまな伝達手段等で案内するとともに、保護者と連携しながら生活指導の充実を図る。
- ・セーフティ教室等を活用し、安全教育の推進を図り、登下校時の通学マナーや安全に行動できる資質や能力を習得させる。
- ・管理職、生活指導主任、各HR担任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーからなるカウンセリングやいじめに対応する委員会を組織し、特別な支援や配慮が必要な生徒についての情報交換と対応のための協議を行う。

#### ④進路指導

- ・過去の進路情報をデータベース化し、1年次より卒業までの4年間を見据えた進路指導を実施するためにキャリア教育全体計画を確立し、ハローワーク及び進路指導部・担任・各教科が連携して全教職員で進路指導に取り組む。
- ・「キャリアガイダンス」や「インターンシップ等」を活用し、ビジネスマナーやコミュニケーション能力を育成するとともに、進路先選択能力や進路意識を確立させる。
- ・ジョブサポーターと連携して、生徒自身が卒業後に向けてキャリアについて考えるための進路学習及び事前・事後の指導計画の改善を図る。
- ・教育課程の特色を活かして計画的かつ組織的な進路指導に取り組むために、系統的な進路指導計画に基づく組織的・計画的な資格取得の促進や、資格を活用した進路指導及びキャリアカウンセリング機能等を充実させ、生徒一人一人の進路実現を図る。

#### ⑤特別活動・部活動

- ・校外活動について精査し、生徒会を中心として生徒の主体的な学校行事運営を支援しながら、学校行事等、特別活動の充実を図り、生徒一人一人の存在感と達成感、学校への帰属意識、クラスの連帯感を高め、学校に生徒の居場所を作り、充実した学校生活を推進する。
- ・4年間を見通した年間ホームルーム指導計画を作り、生徒会や各委員会活動等の活動を活性化させ、ホームルームや学校行事をとおして、「助け合う心」「思いやる心」「役割を果たす責任感」等、豊かな人間性を育成し、社会性を育み、自主性・自律性を高めさせる。
- ・部活動加入率を向上させ、活動日数・時間（週休日も含め）等の環境保証と整備により部活動を活性化させ、各種大会への参加を促進する。

#### ⑥安全・健康指導

- ・安全や健康に関する指導を徹底するため地域と連携し、薬物乱用防止教室やセーフティ教室の内容を精選、改善することにより、指導の充実を図る。
- ・全教職員とスクールカウンセラーが連携して相談機能を充実させ、きめの細かい保健指導や講演会等を実施するとともに、必要に応じて校内研修を実施する。
- ・家庭やスクールカウンセラーと連携し、学校不適應や問題行動を未然防止する。
- ・環境への配慮と校内美化のため、清掃指導やゴミ分別の指導の徹底を図る。
- ・給食時に食生活のマナーや食事を通じた人間関係の形成能力を身に付けさせるなど、食に関する指導を通して食育の指導を行う。

#### ⑦広報・募集活動

- ・教務部を中心に全教職員で中学生や保護者・地域へ色々な形で本校の教育活動をPRする。
- ・本校の教育活動の様子を具体的タイムリーに、校門掲示板、ホームページ、定時制ニュース等で案内するとともに、家庭への連絡プリントを適宜作成し、本校の教育活動について周知する。
- ・中学生やその保護者、中学校へ向けて、中学校訪問やホームページを活用した情報発信により、授業公開、体験入学、その他募集活動の活性化に取り組む。

#### ⑧図書・視聴覚教育

- ・図書委員会や図書室と連携した広報活動を充実し、図書室の資料の充実と利用の促進を図る。
- ・教科と連携して図書室の利用及び読書習慣の定着を促進する。

- ・文化的な行事の内容の精選し、校外教育活動の活性化を図るとともに、教育活動全般を通じて言語活動を充実させ、教養と知識、技術の定着と生涯学習への基礎づくりに努める。

⑨研究・研修その他

- ・長期休業日中における計画的な研修や、教職員研修センター等の研修を通して、生徒指導力や教科指導力を向上させる。
- ・若手教員育成研修制度を活用し、定期的に授業研究・研究協議を実施し、授業力を向上させる。
- ・学校運営連絡協議会や生徒による授業評価結果を活用し、授業の改善を図る。

○数値目標

- ①学校運営…体罰等の不適切な指導： 0（無し）  
学習活動における外部講師指導実施： 15時間以上
- ②学習指導…簿記検定3級以上取得者： 2年次70%、3年次90%、4年次100%  
文書デザイン他情報処理系検定3級以上取得者： 2年次90%、3年次100%  
ワープロ検定3級以上取得者： 1年次80%、2年次85%、3年次90%、4年次100%  
授業外の補習・補講の実施：延べ80時間以上（教員一人あたり10時間以上）
- ③生活指導…転・退学率： 10%以内  
学校通信発行： 10回
- ④進路指導…ハローワーク（ジョブサポーター）との連携： 20回  
卒業生の進路決定率： 80%以上（内 就職希望者内定100%）
- ⑤特別活動・部活動…学校行事出席率： 70%以上  
部活動加入率： 70%以上  
部活動大会参加： 5回
- ⑥安全・健康指導…安全・健康に関する講演指導： 10回以上
- ⑦広報・募集活動…中学校訪問： 40校以上  
授業公開： 10名以上来校  
体験入学： 10名以上参加  
随時学校見学： 5名以上見学  
入学選抜応募倍率(一次・二次計)： 1.0倍
- ⑧図書・視聴覚教育…図書不読率： 40%以下
- ⑨研究・研修その他…研究授業： 7回以上実施